

看護学専修 高度実践看護師(小児看護専門看護師) 履修モデル

【期待される能力・修了後の主な進路】

子どもと家族の状態(発達・健康・生活)をアセスメントし、直接的ケア、倫理的判断能力を発揮した調整、多職種や他の看護職との調整、相談、教育機能など必要な看護を高度な技術を用いて実践できる。小児看護学領域の援助・方略を開発できる。小児看護の発展を考え、研究成果を活用できる。

2年次

【専門科目】

看護教育論(2)

小児実践看護実習Ⅱ(2)

小児実践看護実習Ⅲ(2)

【特別研究】

実践看護課題研究(6)

1年次

【共通必修科目】

IPW論(専門職連携実践論)(2)

【共通選択科目】

保健医療福祉概論(2)

保健医療福祉研究法特論(2)

コンサルテーション論(2)

健康福祉評価論(2)

【専門科目】

看護理論(2)

看護倫理(2)

小児健康生活論(2)

小児看護援助論(2)

小児保健医療福祉論(2)

看護学演習(小児看護)<CNS>(2)

小児看護援助法Ⅰ(2)

小児看護援助法Ⅱ(2)

小児実践看護実習Ⅰ(2)

* 現在26単位課程で、38単位課程に移行準備中

【学士課程において身につけておくことが望まれる能力】

学士課程における看護学の基礎的な科目全てを基盤とする。特に、小児看護専門看護師を目指す場合は、「小児看護学領域」については、理論だけではなく臨床実践経験もふまえて、子どもの健康に関して多角的なアプローチに興味・関心を有していることが望ましい。